

市民特派員  
レポート

”自然敬愛都市宣言のまち“から

# 私たち「緑花ボランティア」です



花と緑は、私たちに快適で潤いのある生活をもたらしてくれます。市では、光市民憲章に「ふるさとの自然を愛し 花と緑の豊かなまちをつくりましょう」と掲げるとともに、美しくすばらしい自然を次世代へ引き継ぐた

緑花ボランティア  
平成20年度会長  
もりつくだのり  
森次忠則 さん  
(虹ヶ丘7丁目)



どういった思いから、活動に参加しようと思われたのですか

**自**分の住んでいるまちに対して、なにか恩返しができたらという思いがありました。また、会員の方と交流が持てることや、自分自身の知識・技能の向上にもなることが大きいですね。

活動を通しての苦労、喜びをお聞かせください

**喜**びのほう苦労よりも大きいです。みなで和気あいあいと楽しくやっています。活動は1か月に一度くらい。一番大変なのは、水場が近くにない場所の水やりです

ね。一人なら絶対にできません。みんなでやるから、支え合って頑張れるのだと思います。

市民の皆さんから「きれいになりましたね」「大変でしょうが、頑張ってください」と声を掛けていただくことが一番の喜びです。

今後の目標は

**会**員同士の座談会でも出た話ですが、いずれは、高齢者の独居宅を訪問し、庭木の剪定等をしてあげたいと思っています。

「緑花ボランティア育成支援事業」に取り組む理由は

**光**市はご承知のとおり、自然の豊かなまちです。近年、市民の方々の協力もあって、海岸などは大変きれいに保たれていると感じます。一方で、公園や公共施設周辺など、なかなか手入れの行き届かないところがあるのも事実です。そのため、市民の方々の協力を得て、市域全体の緑と花の保全活動をしていこうという思いから、「緑花ボランティア事業」に取り組んでいます。

緑花ボランティアではどんな方々が活動されていますか

**緑**や花でまちを美しくする活動に興味のある皆さんが集まっています。現在は、男性女性約半数ずつ、40歳代から70歳代までの42名の方々が構成されています。力仕事、技術や知識を要するもの、それぞれ自分の得意な分野で仕事を分担し、協力して作業に当たっています。

今後の活動は

**活**動・経験年数にも差があり、まだまだ勉強中ですが、本事業で得た知識や技術を持って、地域における率先した緑化活動等の自主的な活動が広がることを期待しています。

水産林業課  
林務係長  
すえおかしんいち  
末岡真一 さん



め、平成18年3月に「光市自然敬愛都市」として宣言し、自然に対する光市の姿勢を明確にして、花と緑のまちづくりを目指しています。

平成17年度からは、市民の皆さんとの協働により、身近な緑地や花壇などの保全活動を推進するため、「緑花ボランティア育成支援事業」を創設し、「緑花ボランティア」の皆さんとともに活動しています。

今回は、市民特派員の池田信枝さんが、「緑花ボランティア」の年間を通じた活動内容をレポートします。また、1日作業体験をするともに、緑花ボランティアの会員などにお話を伺いました。



市の木 クロマツ



市の花 ウメ

平成17年10月2日制定

# 緑花ボランティアの活動をご紹介します

## 研修

今年度は、4月に剪定実習、7月にプランターと花壇づくりの研修会を行い、会員相互で技能の向上に努めているそうです。

また、9月には、山口県花き振興センターにおいて、種からの育苗についての研修会を開催。土や肥料づくりの方法、種蒔きからポットへの植え替えのタイミングなど、専門家から育苗技術の指導を受け、熱心に受講されていました。



配布されたパンフレットからも、学ぶことはたくさんあります

講師の話はメモを取り、今後の活動に役立てます

小さな種子は、濡らしたつま楊枝を使い丁寧に種を蒔いていきます

発芽にあった配合の土を育苗用トレーに移します



緑花ボランティア  
おがわまゆみ  
小川真弓さん  
(島田5丁目)

道を歩いていて、草が伸び放題の所を見ると、きれいにしたいと思っていました。自分たちの手でそういった所をきれいにしていき、散歩やジョギングをする方などに喜んでいただきたいと思います。



緑花ボランティア  
なかたたいち  
中田太一さん  
(室積8丁目)

余暇を利用して、何かのお役に立てたらと思いを参加しています。花の名前も知らない、庭の手入れもまかせつきりだった私でも、剪定や花のことなど多くの知識と技能が身に付きました。

ボランティア

の  
思い

花が好き





みんなで協力しての作業です  
 新入会員さんも座学を受けた  
 後、作業に加わっていました



校門前は、特に丁寧に形を整えていきます



慣れた手つきで剪定が進みます

## 緑花活動 く剪定く

市内の公共施設等において、樹木の剪定のお手伝いをしながら、経験を積んでおられます。樹木にはそれぞれ、適した剪定時期や剪定方法があり、技術レベルにあった素材を選びながら、無理のない範囲で作業に取り組んでいるそうです。  
 今年度は、6月と10月に周南コンピユータ・カレッジで剪定を実施。まだまだ勉強中ということですが、数時間の間に  
 見えるようにきれいになりました。



緑花ボランティア  
 はしもともえ  
 橋本素恵さん  
 (三井8丁目)

この活動に参加してから、花がきれいに咲いているところに自然と目がいくようになりました。自分でももっと花作りに挑戦したいです。花で一杯になると気持ちがいいですね。



緑花ボランティア  
 まつおかしょうえい  
 松岡省鋭さん  
 (中村町)

これまで、市内の幼稚園や小中学校、伊藤公記念公園の花壇作りや剪定に参加してきました。微力ながらも時間の許す限り社会奉仕になればと思いい活動に参加させてもらっています。

緑花ボラン

活動への

思

緑と花が



# 緑花活動 く花

平成19年から、伊藤公記念公園内の花壇を使って、花壇づくりの勉強をされています。春と秋には、土づくりと花の植え替えを行い、できるだけ長い間、花を楽しむことができます。水やりや花殻摘みなどのお世話を交代で行っているそうです。

また、光大橋や伊藤公記念公園、あいばーく光には、春と秋の2回、緑花ボランティアの皆さんが丹精込めて育てた寄せ植えプランターが配

置されています。光大橋のように水場のない場所まで水を運ぶなど、重労働もありますが、道行く人に喜んでもらおうと、会員の皆さんが交代で作業に当たっています。

さらに昨年12月には、さつき幼稚園の花壇づくりを実施。春に花が満開に咲いた花壇をイメージしながら、こだわって苗を配置されたそうです。園児たちも春が待ち遠しいようです。



さつき幼稚園の門をくぐるとすぐに花たちが迎えてくれます



協力して植えたプランターが各所に配置されます

水産林業課ホームページ  
<http://www.city.hikari.lg.jp/siyakusyo/suisan/rinmu07.html>



また、市のホームページでは、活動の様子をご紹介します。ぜひご覧ください。  
 問合せ 水産林業課林務係  
 0833(72)1400

## 緑花ボランティアを

### 募集しています

花や緑が好きなお人、自分の余暇時間を何かの役に立てたい人、「緑花ボランティア」として一緒に活動してみませんか。活動に参加してみたい方も、興味があるけどなかなか難しそうと不安がある方も、遠慮なくお問い合わせください。



光大橋に設置したプランター

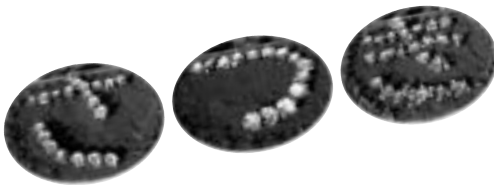


さつき幼稚園花壇



伊藤公記念公園花壇

花壇づくりでは、園児数が少ないため、職員と保護者が一緒に作業しても、土を耕すだけで大変な作業です。植えていただくだけでもありがたいと思っていました。が、こんなに素敵な花壇をプレゼントしていた、ぜひ緑花ボランティアの皆さんに直接お会いして、感謝の気持ちを伝えたいです。春には花壇を、ぜひ見にお越しください。



緑花ボランティアの皆さんに作っていただいた花壇を見たとき、うれしい驚きでいっぱいになりました。皆さんのさまざまな工夫、特に葉ボタンで描かれた「さつき」の文字には、園児や保護者もとても喜んでいきます。

みんな笑顔  
さつき幼稚園長より

11月9日、伊藤公記念公園で、春に向けてのプランターと花壇づくりがあり、私も作業に加わらせてもらいました。この日参加されていた20人ほどの会員の皆さんと、ピオラとチューリップの植え付け作業を進めていきました。はつらつと作業に励む、皆さんのいきいきとした笑顔がとても印象的でした。会員の皆さんの笑顔こそ、まさに花のようです。



市民特派員  
いけだのぶえ  
池田信枝さん

作業に参加したのは1日だけでしたが、これから花壇や剪定のされた樹木を見るたびに、皆さんの笑顔を思い出さずして、今後もこうした活動の輪がさらに広がることを願います。私も花と緑があふれるまちづくりのお手伝いできればと思います。

光大橋を通るとき、何気なく見ていたプランター。整然と並んだプランターに植えられた色とりどりの花を見て、きれいだなと思っても、どんな方たちがそこをお世話されているのか、これまでは考えてみることもありませんでした。

## 取材を終えて



きれいにしたい」という皆さんの気持ちのあらわれだと感じます。会員の皆さんは口をそろえて、「自分のためでもあるんですよ」と言われていました。決して楽な作業ではありません。暑い日も寒い日もあれば、土づくりや水やりといった日ごころからの地味で継続の必要な作業や力のいる作業、剪定など怪我などに気を遣う作業もあります。